

1 学期朝礼講話

おはようございます。

南稜祭文化の部も無事終わりました。日頃は見られない皆さんの活動する姿を見ることができ、素晴らしい発表と翌日の一般公開の様子から、ポテンシャルの高さを感じました。お疲れさまでした。皆さんには仲間を認め合う場であると言いましたが、そうした仲間の隠された側面を見ることができたかと思います。

さて、ここで一段落しましたので、担任の先生方から勉強に力を入れよう、3年生ならば進路に向けて頑張ろうといったことを言われたのではないかと思います。おそらく私も担任ならば同じようなことを言います。勉強しろと言いますとその言葉から勉めて強いという捉え方をしてしまって、なかなか腰が上がらない方も出てくると思います。私は小中学生の頃は勉強ができると親が喜ぶので頑張った記憶があります。他人のために勉強をしていたような気がします。勉強の面白さがわかったのは大学あたりかという気がします、それに近いことが探究学習にあたります。とかく勉強＝暗記となって、がむしゃらに覚えようとしますが、すぐに忘れてしまい、その繰り返し勉強を嫌にさせているように思います。勉強は本来色々考えることではないかと思います。

2、3年生には昨年度末の終業式の時にお話をしましたが、今から10年ほど前に勤務した警察学校の授業が、本校のカリキュラムに似ているということを伝えました。私は副校長として授業をもっており、犯行動機や犯人逃走心理あたりを自分も勉強しながら、学生たちと様々な事件を事例に考える授業を行いました。それぞれ6人ぐらいに分かれて色々な意見や考えを出すのが狙いで、自由な発想を歓迎しました。そうした中で、無人島ゲームというのをやりました。小学生から挑戦できるゲームで、2パターンあって、もし無人島に流れ着いたら必要な物を挙げよという問題と、あらかじめ必要な物を列挙しておいて、重要なものから順番をつけよという問題でした。私は後者のパターンで、各グループで話し合いをさせ、サバイバル経験の中で何が必要かを考えさせました。バケツ、ロープ、ろうそく、ライター等が挙げられていました。前者は東京大学の学生に聞いたところ、ナイフが第1位でした。ナイフがあれば木を切って火を起こせるとか、萱を切って寝床にするとか、その頻度は高いものでした。そこに「衣食住」の考えを含めさせました。「衣食住」は意味あってこの3文字が並んでいることを知っていましたか？私はてっきり「食」が第一かと思ったのですが、意外に「衣」が先なんですね。皆さんは赤ちゃんがお母さんのお腹から出てきて、まず何をするか知っていますか。最初に布で包んであげるんですね。つまり体温調整です。皆さんは体温調整できないとどうなりますか？風邪をひきますね。生命に直結するのは実は「衣」になってくるわけです。

このようなことを様々な角度で考える習慣をつけるのが、私の警察学校の授業の狙いで、いずれ現場に出て様々な事件に出会った時に、色々な角度で考えられることが一番重要で

はないかと思ったからです。

次に考えさせたのは、被災地に向かう時に何が必要なのかということです。今から12年前に起こった東日本大震災の2か月後、私は現地に赴きました。多くの墓石が倒れ、津波が押し寄せて校舎一階が泥だらけになっているのを目にしました。この時平成7年（1995）に起こった阪神淡路大震災とだぶらせました。あの時、私は何ができるかを考えた時に、まだ娘が赤ん坊の頃でしたので、おむつを被災地に送りました。被災地で一番苦勞するのがトイレの排泄です。おむつは赤ちゃんや小さい子、老人には必要になります。その処理は大変なものです。

物真似芸人のコロッケさんは、東日本大震災の後に現地の被災者のために炊き出しに出かけました。少しでも現地の人たちのためになればとの思いで行ったのですが、現地の人からは物真似をやるようお願いされたそうです。津波被害を受けた被災地の人たちを前にして物真似することは、不謹慎で輦蹙を買うのではとコロッケさんは躊躇したそうです。それでも是非にと懇願されたので、いつもテレビでやっている物真似芸を披露したところ、現地の人たちは涙を流して笑い喜び、それこそ震災前以来の笑いだったと言ったそうです。つまり現地では笑いが消えていたのです。娯楽が被災地で役にたつとはコロッケさんは思ってもいませんでしたので、その後定期的に回っては物真似芸を披露したそうです。

被災地に必要な物は何かと聞かれたら、演芸とまではいかなくともトランプやボールといったものも必要品になることを教えてくれています。生きていくためには笑いが必要であることを教えてくれたからです。

このように、警察学校で教えたことは探究そのものであり、探究学習は普段の勉強を後押しするものであることがわかります。本校は探究学習の先進校であります。本校で学んだ生徒たちは社会の即戦力になっていきます。皆さんはこの学校で探究を学べるということはいかに素晴らしいことか誇りに思っていると思います。今日から6、7月是非勉強面で頑張ってください。以上で講話を終わりたいと思います。

（令和5年6月14日、朝礼）